

海外から来られた新たな仲間 (No.4)

「業界で活躍する女性の紹介」は、現在までに10人の方々をご紹介いたしました。新たに「海外から来られた新たな仲間」を開始しており、今回は4人目の紹介をします。まだまだ日本社会は多様性（延いては永続性）に関し寛容でない部分が散見されます。それを改善するための企画です。

株式会社キャトルプラン 東京本社 海外購買部 パイヤー
李 宜庭さん (Lee Yi Ting) 1984年生まれ 台湾出身



<日本に来るきっかけ>

2013年28歳のとき、ワーキングホリデーを利用して来日しました。知り合いの紹介で当社にバイトで働きはじめたところ、正社員の話を当社の佐藤社長からいただき、就労ビザに切り替え、海外購買の担当をさせていただいております。

<日本に来てよかったこと・残念なこと>

① SMAPの大ファンということもあり、日本に憧れていました。28歳のとき、日本に来る夢を実現したこと。②佐藤社長の紹介で夫に出会えたこと。③娘が生まれたこと。いま3歳です。残念なことは税金・年金が高いことです。

<仕事上の苦勞>

円安なので仕入れ値がかなり上がっていることです。海外の仕入先には、「今回の販売先は、大きなチェーンなので、これから発注量が大きく増えると思います。」という感じで状況を丁寧に説明し、相手の理解を得ながら価格交渉を行っております。職場の方々にはいつも助けてもらっています。

<生きがいや趣味>

子育てです。巨人ファンなので夫とビールを飲みながらの観戦はストレス解消になっています。

<私の夢>

マイホームを持ち、いつか台湾に住む母を呼び寄せることです。もう一つは平和です。台湾・日本・中国・東南アジアなど、出会った方々は良い人ばかりです。民間交流を続けることでさらに仲良くなって、戦争の準備なんかしない世界になって欲しいと願っています。

<日本人へのアドバイス (助言) >

良さでもあると思いますが、若い方が遠慮がちです。夢を実現するために、自分の意見を言い、行動を起こすことが大切かと思えます。佐藤社長のように、言葉が通じなくても気持ちを海外の相手に伝えることができる日本人います。身近なところにお手本がいますよ。Open Your Heart!

<これから日本で仕事をする海外の方々へのアドバイス (助言) >

「自分の国はこうではなかった。前の環境と違う。」と思うこともあるでしょうが、新たな環境にゼロベースで取り組んでください。気づくと新たな発見・真の友人が得られると思えます。

「海外から来られた新たな仲間」

万引防止システムの業界には、海外から来日された方々、帰化された方々がいっぱいます。互いの相互理解を深めることで、温かな人間関係作り、生産性向上、その先にある社会の持続的再生産に貢献したいと思えます。万引対策等の防犯活動の現場または支援活動の中で活躍されている海外から来られた新たな仲間を紹介いただきたく、お願い致します。 工業会 日本万引防止システム協会